

令和2年度NPO活動推進補助金 活動報告書

事業名	福岡在住外国人「特別定額給付金」申請手続き等サポート事業
団体名	NPO 法人トゥマンハティふくおか
法人設立年月	2014年9月
団体の目的	インドネシアの子供への教育支援や福岡の国際化推進など、さまざまな活動を通して、地球市民ひとりひとりが「Teman Hati(心の友)」として安心して暮らせる真のユニバーサル社会の実現を支援していきます。
主な活動	国際協力、国際交流及び国際理解教育、多文化共生の推進
補助事業の概要	<p>目的</p> <p>日本語が苦手な「特別定額給付金」申請を手伝ってほしい外国人の書類作成をサポートする。コロナ禍でアルバイトがなくなったり祖国からの仕送りが減った外国人留学生（社会人も含む）を通訳として事業に参加してもらい謝礼を払うことによって経済的支援を行う。</p> <p>実施内容</p> <p>日本語の読み書きが不自由な（かつネット環境が整備されていない）福岡在住外国人のために、日本語がわかる福岡在住外国人（留学生・社会人）と日本語指導日本人ボランティアがペアとなって対面で相談を受けながら「特別定額給付金申請書」作成等のサポートを行った。</p> <p>6月6日（土）～7月4日（土）に計7回開催</p> <p>コロナ禍でアルバイトが中止になり、収入が減った外国人留学生（日本語検定N2クラスの優秀な人材）たちに謝金を払うことで、経済的支援をすることができたが、こちら側が人員も十分確保し、万全な体制を整えて待機していても、コロナ禍のなか、外国人は、なおさら知らない人がいる知らない場所に出向くことに対して躊躇があるのか、会場に足を運ぶ外国人はわずかしかなかった。知り合い（出身国のコミュニティメンバー）もしくは会社の上司・学校の先生などのアドバイスをもとに自宅で対応したと思われる。6月末時点でこれ以上期待される効果は見込めず、7月4日をもって事業終了とした。</p> <p>成果</p> <p>福岡よかトピア国際交流財団、各地域の日本語ボランティア教室、移住者と連帯するネットワーク（移住連）との連携体制を取ることができた。</p> <p>今後</p> <p>今回の事業で得た人脈を活用し、在福外国人のために、福岡よかトピア国際交流財団、留学生、外国人コミュニティ、日本語学校、日本語ボランティア教室、公民館、移住連、特定技能支援機関や監理団体などと包括的な支援ネットワークを作り将来的に外国人と気持ちよく住める福岡市を目指したい。</p>



福岡市国際会館



早良市民センター

新型コロナウイルス感染拡散防止対策

- マスク着用 ○検温計持参 ○フェイスシールド着用 ○アクリルパーテーション設置
- 当日の体調をヒアリングする受付アンケートの実施 ○(入場制限のための)人数整理スタッフの配置 ○
- 窓の定期的な開放 ○ソーシャルディスタンス ○設備・備品等の消毒
- 参加者への手洗い・消毒の指導